



新会長に山根眞樹生氏

西高主体に新布陣も

平成10年度の鳥城会総会は、昨年12月5日(土)午後6時から東京・銀座フアゼンダで開かれ、任期満了にともない、新会長に山根眞樹生氏(一中54期)を選出した。副会長も鳥取西高を中心に大幅に刷新され、新しい一歩を踏み出すこととなった。

総会には当番幹事を担当した西高13期の30人をはじめ、総勢80人近くが参加。まず4期8年にわたって会長を務めた渡辺誠毅氏(一中44期・当日は欠席)からの辞意を伝えるあいさつが代読され、来賓として出席された白岩武士西高教頭が母校の近況について報告された。

ついで議事に入り、平成9年度決算・10年度予算を承認後、役員人事では山根新会長をはじめ副会長、監事ら10人を幹事会の原案通りに満場一致で可決した。役員10人のうち、西高出身が6人(初めて女性副会長も誕生)を占めた。会則の会員資格(一中同窓生は全員、西高同窓生は希望者の

み)についても改正され、西高も全員参加の形に一本化された。いずれも今後の活動の主体が、鳥取一中の伝統を受け継ぐ西高に移ることを象徴するものだ。あいさつに立った山根新会長は自己紹介の後、「こんどの会則改正で一中と西高の壁を取っ払い、鳥城会も西高の時代になった。各期の会合をどのようにな輪に結びつけるか、私も発展に力を尽くしたい」と力強く述べられた。

総会には約30分で終了、懇親会に移って、しばし先輩・後輩が旧交を温める懇談があちこちで続いた。締めくくりは、いつものように高女、一中、西高の校歌斉唱と郷土の作曲家・岡野貞

私たちの青春を育んでくれた母校は山陰の名門と畏敬され、球界においては古豪の榮譽を担い、創立以来実に百二十有余年、まことに誇り高き光輝ある伝統を受け継いだ心の「ふるさと」であります。諸先輩のこの努力により関東鳥城会が結成され、逐次、会員も増え、内容も充実しつつあるのは欣快にたえないところであります。



会長 山根 眞樹生 (元新日鉄副社長)

西高の壁を取り払い、7名の副会長も5名まで西高出身者を選びました。女性副会長も初めてです。伝統と進取の気性を継承しつつ、時代の変化に順応するものであります。人情地に落ち、世情騒然たるこの世の中で、スト

★題字も一新しました。
★揮毫は山根新会長に、イラストは会員の画家・福田典高氏(西高9期)にそれぞれお願いしました。
★ありがとうございます。(編集部)

副会長の担務等決める

新布陣になって初めての正副会長・監事による役員会が2月5日(金)午後6時から東京・有楽町の朝日新聞談話室で開かれた。この席では先ず各副会長が担当する会務(担務)のほか、次のようなことが決められた。

- ①できるだけ早く会報8号を発行し、総会の決定などを会員にお知らせする。
 - ②予算が認められたので、新生鳥城会を期待させる雰囲気につちた2時間であった。
 - なお、ご出席くださり、総会の運営にご協力いただいた会員各位に、この紙面をお借りして深く感謝する次第です。
 - (総会当番幹事 木村 俊二・西高13期)
 - ③名簿作成の過程で、各期幹事(会長委嘱人事)の陣容を整える。
 - ④会員からの要望に沿ってレクリエーション活動を活性化させる。
- | | | | |
|-------------|---------------|------------|---------------|
| ◎会長 | 山根眞樹生(一中54期)※ | ◎副会長 | 森本 勇(一中55期)※ |
| ◎監査 | 藤田 伸夫(西高13期)※ | ◎企画担当 | 中野 純(一中61期) |
| ◎レクリエーション担当 | 三井 幸子(西高15期)※ | ◎総括・会報担当 | 三浦 三郎(西高5期) |
| ◎会員増強担当 | 川口 義男(一中58期)※ | ◎経理・名簿担当 | 清水紀代志(西高9期) |
| | 林田 達郎(西高5期)※ | ◎総務担当・事務局長 | 寺谷 敏克(西高11期)※ |
| | ◎顧問 | ◎会員増強担当 | 河原頭太郎(一中42期) |
| | 三熊 文男(一中37期) | | 渡辺 誠毅(一中44期)※ |
| | 佐々木定道(一中41期) | | 杉村 公美(一中50期)※ |
| | 林田 達郎(西高5期)※ | | |

共有の心の「ふるさと」を大切に

レスがたまりませんが、若き日の情熱と希望を思い起こし、人間の豊かさを取り戻したいものであります。どうか諸兄諸姉とともに相携え、気楽に「ふるさと」を語り合える仲間を次山つくり、友情と親睦の輪を少しでも広げたいというのが真意でありますので、微意お込み取りいただきたく思います。

最後に私のプロフィールを一言。出生は鳥取市寺町、湖山小学校、鳥取一中54期生、海軍兵学校を経て幾多の海戦に参加。終戦後は引き揚げの海軍を経て進学。社会に出てからは新日本製鉄40年の鉄一筋。その任務を終えて進学。社会に出てからは新日本製鉄40年の鉄一筋。その

の後、九州石油8年は社長、会長を経て、現任、取締役相談役です。ボランティアでは障がい者園遊会理事を務めさせていただきます。

平成十年年度総会出席者

(敬称略)

◎米實 白石武士鳥取西高教頭、前田親保鳥取県東京事務所長

◎会員 (鳥取一中)

▽42期・河原卯太郎 ▽43期・伊藤光治 ▽45期・岡村繁、山下武
▽49期・山川国雄 ▽50期・杉村公美 ▽54期・山根樹生 ▽61期・
中野純、仲山淳一、村野兼雄、山根正男、米村恒義

(鳥取西高)

▽1期Ⅱ一中62期・原桃介 ▽4期・倉光定己、西田俊夫 ▽5期・香
月巖、三浦三郎、中田和夫、林田達郎 ▽6期・梅津孝史、山本浩三、
中田悟 ▽8期・高士昌憲、白岩宏 ▽9期・清水紀代志、田中脩夫、
森下恭光、篠田英男、伊黒比佐江 ▽11期・尾関寿幸、安治稜夫、神谷
昭光、谷口洋子、寺谷敏克、山下博三、森田尅輔、安木米吉 ▽12期・
岡田武人 ▽13期・大沢賢太郎、井野裕子、石谷雅文、木村俊一、浜本
一知、麻谷俊夫、横川靖憲、猪口美恵子、福島智子、横山宏子、岸田宏
子、篠田伸夫、浦瀧求、片岡美保子、富野守見子、国延修一郎、白石富
美子、宮脇昌昭、大石敏一郎、津田元宏、菅野敬子、米濱和英、前田政
夫、松本洋祐、森下健男、岡田静雄、谷口彬雄、浜田義徳、上根通史、
山本哲也 ▽14期・徳田尤誠 ▽15期・中川浩明、三角幸子、藤原和代
▽25期・大西重任 ▽34期・河越義人

◎特別参加 旧翠紅会(鳥取高女同窓会) 藤本正子、河原和代

△会員の近況(報出口)や面女望主

出欠通知のお便りからの抜粋。※印は鳥城会に
こんなレク活動をという要望。敬称略。

〔鳥取一中〕

入江藤直(34期) 老年なるも元気。
岡本清志(35期) 15年以來、赤十字病院に通って
る状況でありますので、欠席させていただきます。
石黒長治(40期) 何とか元気で暮らしています。

※英語学習

島田政雄(42期) 86歳で歩行困難、会合に出席不能
です。名誉会員として会費免除に感謝します。

三神正雄(43期) 歩くのがのろくなりましたが、86
歳としては元気な方です。夜間外出はひかえており
ます。
大村文夫(44期) 夜の会合は遠慮しています。

〓〓〓 〓〓〓 〓〓〓

(事務局へご通知があ
つた方々を掲載)

〔鳥取一中〕

37期 横山 保正様
平成10年5月13日逝去
44期 南條 重太郎様
平成9年12月逝去
45期 竹田 吉雄様
平成10年10月21日逝去
57期 宇野 薔様
平成10年6月26日逝去
61期 吉岡 秀樹様
平成10年10月31日逝去

★内容が豊富なので、で
きるだけ多くのお便りを
収録しました(編集部)

西尾盛博(44期) 老人ホームにて生活中です。
三輪孝一(44期) 健康でいます。会の発展を祈って
います。

石谷類造(46期) 加齢が進み、夜の会合には出席で
きません。昼ならば出席可能です。距離的に遠いの
で、レクリエーションには参加できません。

岡澤 裕(46期) (総会は) 暖かい時期の昼を希望
します。

安田辰雄(46期) 脳内出血の後遺症で闘病生活中で
す。そのため出席できません。皆様に宜しく。

影井一美(47期) 入院のため、返信遅れました。
熊田辰夫(47期) あと3カ月で83歳、元気で生活し
ています。

延原徳治(47期) 先月12日より肺の病氣悪化し、入
院しています。(長男からの知らせ)。
石谷佳雄(48期) 足が悪く歩行困難なほか、特にあ
りません。

川崎傳志夫(50期) ギックリ腰のほかは、ますます
の状況です。

谷尾 栄(50期) 囲碁は方々の大会の審判、囲碁講
座等を依頼されています。 ※囲碁

松本久直(51期) 病氣療養中のため、失礼いたしま
す。ご盛会をお祈り申し上げます。

石谷真吉(52期) 病氣で入院中のため、会費納入が
遅れました。

山本 茂(52期) 老婆と二人暮らしです。歩
くこと、家庭菜園づくりを楽しんでいます。

吉岡泰三郎(52期) 病氣リハビリ中のため、盆裁づ
くり等をしていきます。 ※盆裁づくり

濱本武雄(54期) これからはできるだけ出席を心が
けます。 ※写真

谷尾 侃(55期) (暮れの総会)忘年会など他と
重なりやすい。新年会で如何かと思えます。

三田三郎(55期) 何時もお世話様になります。
※謡曲(喜多流)

森本 勇(55期) 健康維持のため、散策等を楽しん
でいます。 ※囲碁・ゴルフ

塩谷 実(55期) 父(98歳)の介護で留守ができま
せん。年会費は事務局に送ります。 ※囲碁

遠藤正明(56期) 少し体調を崩して療養に動んでい
ます。

鈴木 昭(56期) お陰様で、連者に暮らしておりま
す。 ※史跡巡り・グルメの会

藤原謙二(56期) 元気で暮らしています。 ※史跡巡り

乾 純夫(57期) 病氣加療中。
小谷秋夫(57期) 何よりも健康第一と考え、山歩き
などで心身のリフレッシュに努めている。

田村 博(57期) 元気でです。よろしく。 ※ゴルフ・カラオケ・柔道

倉信隆弘(58期) ほとんど仕事はしておりません
が、健康保持のため、一応、月曜から金曜日まで税
理士事務所に出ています。

川口義男(58期) 町内会の理事会と懇親忘年会と重
なり、今回は欠席します。 ※囲碁・史跡巡り等

稲富道治(60期) 至って健康です。 ※読書

生田孝明(60期) 古希とはなりましたが、歳相応に

頑張っています。皆様に宜しく。

※マージャン・史跡巡り

岡垣宏和(60期) 東京女子医大高崎教授による手術
(胃潰瘍)後の回復途上にあります。

影井信興(61期) 体調いま一つです。年会費振込用
紙が未着です。よろしく。

田辺正義(61期) 身体をいたわりながら、無理せず
診療の仕事が続けています。

山本雄二郎(61期) 経済関係の雑文書きと講演をこ
なしています。

(鳥取西高)

猪口 信(1期Ⅱ一中62期) 幹事の皆様には大変お
世話様になります。どうぞ宜しく。

橋本邦雄(1期Ⅱ一中62期) 今年は仕事の都合上、
総会に出席できません。

浅尾保夫(2期Ⅱ一中63期) いつも総会に出席でき
ず申し訳なく思っています。 ※囲碁

上原敏秀(2期Ⅱ一中63期) 来年には今の会社(三
井海上火災保険)も退職したいと考えています。 ※囲碁

増賀光一(2期Ⅱ一中63期) 和光大学では講師とし
て「現代青年論」を担当しています。 ※演劇

松尾哲男(2期Ⅱ一中63期) 昨年8月より椎間板へ
ルニアになり、苦しみました。4月より牽引を始
めて大分楽になりました。

山口桂子(2期) 福祉事務所の保健医療相談員をし
ていましたが、平成10年3月末に退職しました。

鬼 泰照(3期Ⅱ一中64期) レクリエーションとし
て麻雀の開催をお願いします。 ※囲碁も

佐本昭三(3期Ⅱ一中64期) 元気なうちにとヨーロ
ッパ中世の面影を残す古い街並みを歩いています。

田畑 健(3期Ⅱ一中64期) ことし6月末日タイ
アし、気ままに暮らしています。

高田俊爾(3期Ⅱ一中64期) 都合が悪くなり、出席
できません。皆様に宜しく。

中野 剛(3期Ⅱ一中64期) 元気にまだ現役です。
年間二百五十前後のお産で赤ん坊を取り上げていま
す。そろそろ息子達との交代を考えています。

牧野和春(3期Ⅱ一中64期) 取材と執筆生活です。

※ゴルフ

三田耕治(3期)一中64期) 他のスケジュールと重なり、欠席となり残念です。出来れば日曜日に今後(は)計画下さい。

※ゴルフ・史跡巡り
見手倉昭雄(3期)一中64期) 一中から学区制で東高に行つたため、鳥城会が西高と一緒にになるにつれて、少し敷居が高くなりました。

井上温子(4期) 昨年に続き、新風舎より、時代伝奇小説「喬之介変化」を出版しました。ペンネームは神辺恵子です。宜しく。

市川寿雄(5期) わずかな年金を頼りに読書三昧、釣り三昧の毎日を送っています。

岡田 栄(5期) 焼肉レストラン「じゅんぶう亭」(収容人員60席)を開店して1周年、頑張っています。店名は鳥取の醇風小学校からとりました。

益田 貢(5期) 行事が2件重なって出席できません。
※マーじゃん・ゴルフ
美多賀真一(5期) 職を引退しますと、なかなか中央へ足を運ぶことが面倒となりました。会費は後日送ります。
※マーじゃん・ゴルフ

渡部雄義(5期) 元気で頑張っています。64歳になりました。
※史跡巡り・ゴルフ
吉村知子(6期) 所用につき出席できません。幹事の方、(苦勞)です。

佐々木武司(7期) 第二の動機をしています。
※ゴルフ
岸田道則(9期) 休日を利用して、武蔵野観音札所巡りをしてあります。

久米澤喜一郎(9期) 今回も東北出張につき、残念ながら出席できません。
篠田英男(9期) 漫画と学校の二足のワラジで大忙し。ただ、女子短大なので、若い女性に囲まれて、皆さんにはうらやましがられています。

田村喜昭(10期) 私事で都合つかず、悪しからず欠席させていただきます。

武田絨一(10期) どうしても、はずせない用事がありませんので、今回は欠席いたします。

平尾千秋(10期) 先日、伊豆方面での同期同窓会に出席し、楽しい2日間を過ごすことができました。

吉村文成(10期) 残念です。現在、朝日新聞ジャカルタ支局長として国外で勤務中です。

※閉幕・史跡巡り・ゴルフ
米沢武男(10期) 母校の近況をお知らせ下さい。

飯田周子(11期) 看護教育に専念しています。ライフワークとして、日本古代史、神社史の勉強をしています。同好会があれば良いと思います。

植田憲治(11期) 鳥取へUターンのため、準備中。出来れば平成11年中に思っています。

安木米吉(11期) 98年9月の機構改革(勤務先・日本格付投資情報センター)により誕生した新しい部において、今後のビジネスをどう展開していくか模索中です。

小峰美代子(14期) 私にとって今回が初めての案内状だと思えます。鳥城会という名も初めて知りました。正直のところ、どう動いてよいのか分かりませんが、

高尾洋子(14期) 鳥城会のこと初めて知りました。連絡ありがとうございます。

田辺沙英子(14期) この様な会が持たれていることを初めて知りました。

田淵敦子(14期) ぜひ出席させて頂きたいと思つたのですが、どうしても日程が合いません。次回を楽しみに。

小宮紀子(16期) 神奈川団体も無事終わりました。学校(横浜市立豊学校)全体で新体操を見学に行きました。ついでに西高の応援もしてきました。

松本正嗣(16期) 来春より鳥取へ転居します。(旧翠紅会関係)
山川博子 夫・国雄がお世話になっております。元気に鳥をやりたり、主婦をやっています。

魅力ある△△求めて 新会員名簿作成急ぐ

現行の「鳥城会名簿」は平成5年10月に発行されたものであるため、不備が多く、皆様に大変御迷惑をおかけしています。

このほど鳥城会も山根眞樹生新会長のもとに執行部の新布陣となりました。この機会に、新しく内容の充実を図り、会員各位のお役に立てる名簿をつくることになりました。

山根新会長のご意向は、関東鳥城会が鳥取一中卒業生の良き伝統を、鳥取西高卒業生に引き継ぎ、会員相互の親睦を図るとともに、母校・鳥取西高等学校の更なる発展にも貢献するものでありたいということと、

とくに今回の会則改正で関東に在任する西高卒業生も全員参加の道が開かれました。

作業の都合で、70歳以下の会員の皆様全員(80歳以上の方々は名誉会員として免除)に振替用紙を入れてお返しする方々には失礼をお許し下さい。

重ねて会費納入にご協力いただきようお願いします。(事務局)

したので、鳥城会をいっそう魅力ある会とするため、西高各期の名簿の充実を努めたいと考えています。

卒業同期の皆様の中から幹事を選んでいただき、名簿の取りまとめをお願いし、今年10月には名簿を完成し、発行する予定です。

会員増強を担当される寺谷敏克(西高11期)、三角幸子(西高15期)の両副会長にも協力していただくことにしています。

各期幹事の皆様には事務局の清水総合法律事務所(☎03・5220・4531)まで、ご連絡をお待ちしております。

なお、名簿作成に当たっては広告掲載による資金協力もお願いすることにしてありますので、こちらの方もよろしく願います。

(名簿担当副会長
三浦三郎・西高5期)

会費納入にご協力を

同封の振替用紙で

下記の収支決算報告や予算をご覧いただければお分りのように、皆さんからの会費が鳥城会の活動を支えています。

この会報とともに、4月協力下さい。

☆おわび☆

総会で配布しました議案のうち、平成10年度予算案の「前期より繰越金」の数字に転記ミスがありましたので、下記のように帳尻も含めて訂正いたします。ご了承下さい。(事務局)

収入の部	支出の部
年会費 825,000	総会費 727,745
総会費 585,000	会場費 0
受取利息 1,493	通信費 283,810
寄附金 70,000	慶弔費 4,063
	事務用品費 50,190
収入計 1,481,493	役員会等費用 83,580
前期より繰越金 2,082,472	リレーション補助費 90,000
	会報発行費 80,855
	事務局費用 37,972
合計 3,563,965	諸手数料等雑費 22,089
	予備費 6,392
	支出計 1,386,696
	次期への繰越金 2,177,269
	合計 3,563,965

収入の部	支出の部
年会費 825,000	総会費 700,000
総会費 600,000	名簿発行発送費 900,000
受取利息 1,500	通信費 200,000
名簿広告 200,000	慶弔費 20,000
	事務用品費 50,000
収入計 1,626,500	役員会等費用 100,000
前期より繰越金 2,177,269	リレーション補助費 100,000
	会報発行費 50,000
合計 3,803,769	事務局費用 100,000
	諸手数料等雑費 30,000
	予備費 100,000
	支出計 2,350,000
	次期への繰越金 1,453,769
	合計 3,803,769

※他に資産として富士通ワープロ1台

山本・梅津両氏が優勝

平成10年度の「鳥城会春季予団大会」は昨年5月24日(日)、恒例により東京市ヶ谷の日本棋院に名人、連人、腕自慢を自称する面々が参集して開かれ、大いに観戦を深め、有意義な一日を過ごした。

今回は一中長老組の姿が少なく、ちょっと寂しい感じもありましたが、熱戦の結果、A組(3段以上)では▽優勝・山本智4段(西高5期)▽2位・香月巖6

段(西高5期)▽3位・浅尾弘6段(一中61期)となり、B組(2段以下)では▽優勝・梅津孝史初段(西高6期)▽2位・鬼泰照初段(一中64期・西高3期)▽3位・福田善一2段(西高5期)だった。

このほかの参加者は次の通りでした。

▽田中丈雄7段(西高5期)▽尾崎千賀雄5段(西高5期)▽美多賀真秀4段(西高8期)▽倉光定巳

3段(西高4期)▽松田義人2段(一中58期)▽上原敏秀初段(一中63期・西高2期)▽中村昭徳初段(西高4期)▽林田達郎初段(西高5期)▽中野純3級(一中61期)▽前田頼保3級(県東京事務所長)▽五百川孟3級(同次長)

なお、「秋季大会」は都合により開催されませんでした。次の「春季大会」を期待して下さい。

(幹事・西高5期 香月 巖記)

期別の活動を拝見

三朝の里で 記念同窓会

卒業50年を記念して、一中61期の全国同窓会が昨年10月25日、緑美しい山々に抱かれた鳥取・三朝温泉で開かれた。三朝川に沿った近代的な温泉街にあって、純和風で自然との調和を誇る老舗「永楽庵」を全館貸し切り、70人が一泊しての催しだったが、関東鳥城会からも9人が馳せ参じた。

来賓で参加された恩師の横川芳彦先生は「老いて枯

れず」と熱っぽく老人の知恵を生かす生き方について話され、一同共感の拍手で称えた。熱気は遅くまで続き、カラオケ・ルームでは戦中・戦後の歌に若き日への思いが広がり、夜の更けるのも忘れる程だった。

この同窓会のもう一つの目玉は、引き出物として配られた「卒業50年記念誌」(111名の写真・投稿等を収録)と、一中の校章入りエンジ色のネクタイ。幹事役の古芳に感謝し、同窓会の有り難さをしみじみと知らされた。

(山根 正男記)

★県東事務所も新装移転

鳥取県東事務所(前田 頼保所長)は、かねてから

鳥城会事務局を引き受けていた清水総合法律事務所は、業務の拡大にもない、このほど新しい事務所に移転されることになりました。

このように同事務所の仕事は多忙を極めており、清水紀代志総務担当副会長・事務局長からは鳥城会事務局を他に移していただけないかの申し出がありました。役員会で懇請の結果、引き続き、ご無理をお願いすることを快諾していただきました。まことに感謝にたえない次第です。

清水総合法律事務所の移転とともに、鳥城会事務局も4月12日から左記に移転

事務局員が移転しました。よろしく!

しました。JR有楽町駅「日比谷口」を出て、すぐ前の蚕糸会館の2階です。スタッフとして横川英彦氏と雄賀多(おがた) 慶子さんが頑張ってくれてい

すので、よろしく願います。(編集部記)

〒100-0006 千代田区有楽町1丁目9番4号 蚕糸会館2階

清水総合法律事務所内

電話 03(5220)4531・53

FAX 03(5220)4534

新築中の都道府県会館の完成にもない、3月15日、有楽町の仮事務所から同会館10階に移転しました。

これとともに、東京駅の東京大丸9階に開いていた「とっとり情報館」を閉館し、そこの業務は物産販売を除き、東京事務所が引き継ぐことになりました。

なお、鳥取県の特産品はJR浜谷駅南口・浜谷東急プラザ地下1階の「ふるさととっとりや」で販売していただきます。引き続きご利用ください。ようお願

いいたします。

移転先等は次の通り。

◇所在地

〒102-0093

千代田区平河町2の6の3

都道府県会館10階

◇電話

03・5212・9077

◇FAX

03・5215・5115

(鳥取県東京事務所 大西重任・西高25期)

編集後記

会報には、会員相互をつなぐ役割があります。總會関係の報告とともに、できるだけ多くの方々に登場していただきました。記事あつての会報です。内容充実のため、皆様からの投稿を歓迎します。▼どんな情報でも結構です。事務局あてにご投函下さい。(会報担当 副会長・中野 純記)

鳥城会紳士録

多士 濟々の 西高5期 林田 達郎記

回を重ねて、この紳士録もいよいよ西高へと進んできました。とくに5期以降は西高に入学し、西高を卒業した生粋の「西高っ子」といえることができます。それに、大半はまだ現職で生きがよく、鳥取一中の伝統を引き継いで鳥城会を守り立てる仕事は、これらの人たちの肩にかかっているといえます。

さて、現職を中心とした群像を描くとなると、いきおい分野別にまとめたくなります。そこで、先ず官僚王国ニッポンに冠たる中央官庁街からぞいて見ることにしました。

一中時代から人脈の強かった建設省では、鳥取県企画部長も務めたことがある竹内功氏(21期)が住宅局民間住宅課長として活躍しています。この他にも、土木研究所総務部長だった藤井寿明氏(5期)、建設大学教授だった美多賀真秀氏(8期)、砂防部長だった益子恵治氏(9期)らが第二、第三の職場で健闘しておられます。

天下の大蔵省では、寺沢辰磨氏(16期)が主計局次長で頑張っています。先輩格では、長く鳥城会副会長

庁振興部開発課長から日本栽培漁業協会専務理事の浜田義徳氏(13期)らを挙げておきたいと思えます。

文部関係では、長崎大学事務局長を務めた中田和夫氏(5期)、現在も京都国立博物館次長を務める大島有史氏(21期)らがおられます。

このように見ると、霞が関における西高入会もなかなかあることが分かります。他の省庁からも、運輸省海上交通局船員部長から地域伝統芸能活用センター理事長に転じた土橋正義氏(16期)、滋賀労働基準局長から建設労働災害防止協会専務理事の尾崎千賀雄氏(5期)、社会保険庁保険指導課長を務め、現在、社会情報クリエイティブ常務の中田哲氏(6期)らを紹介しておきたいと存じます。

霞が関ということでは政界にもふれておきたいが、現在、母校出身の国会議員は皆無。かつて細川・村山両政権で2度にわたって農林水産政務次官に就任した吉田達男参院議員(5期)も昨年1月、この世を去ってしまいました。まことに残念至極というほかないのです。

長で頑張っています。先輩格では、長く鳥城会副会長

財団副理事長の篠田伸夫氏(13期)、埼玉県副知事から国土庁地方振興局長の中川浩明氏(15期)らを挙げることで、篠田氏は新しく鳥城会副会長に選ばれたし、中川氏もかつて鳥取県知事に擬せられた程の人物です。

農林水産関係では、水産庁漁港部長から水産土木建設技術センター副理事長の川口毅氏(9期)、同じく水産

しておきたいと存じます。

霞が関ということでは政界にもふれておきたいが、現在、母校出身の国会議員は皆無。かつて細川・村山両政権で2度にわたって農林水産政務次官に就任した吉田達男参院議員(5期)も昨年1月、この世を去ってしまいました。まことに残念至極というほかないのです。